

長期外用後の顔・首・手の腫れと不眠を経て外出が可能になった成人アトピーの経過 (55 歳 女性)

症例 ID：001-50-MT | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

長期間にわたり複数の皮膚科を受診し、外用薬を使用しましたが、顔が赤黒くなり、首や手にもかゆみ、乾燥、腫れが広がりました。症状が改善しないため、知人の紹介で松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	他院で外用薬を長期間使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	長期間です。詳細は不明です。
中止時期	松本医院での治療開始時期と考えられます。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
受診前	慢性経過	顔が赤黒くなり、首や手までかゆみ、乾燥、腫れが広がりました。
治療開始	治療開始	煎じ薬、外用処置、入浴を開始しました。
治療 2～3 か月	症状の強い時期	強いかゆみ、痛み、微熱、不眠がみられました。
その後	回復傾向	症状のつらさが少しずつ和らぎ、外出への抵抗が減りました。
記録時点	経過中	外出できる生活となり、治療を継続していました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始 2～3 か月頃に強いかゆみと痛み、微熱があり、夜間に眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- 顔の外観変化と首・手の腫れにより、外出が億劫になりました。
- 強いかゆみと痛み、微熱、不眠がありました。

6. 経過のまとめ

治療経過の中で症状のつらさが和らぎ、外出をためらわずに行えるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。